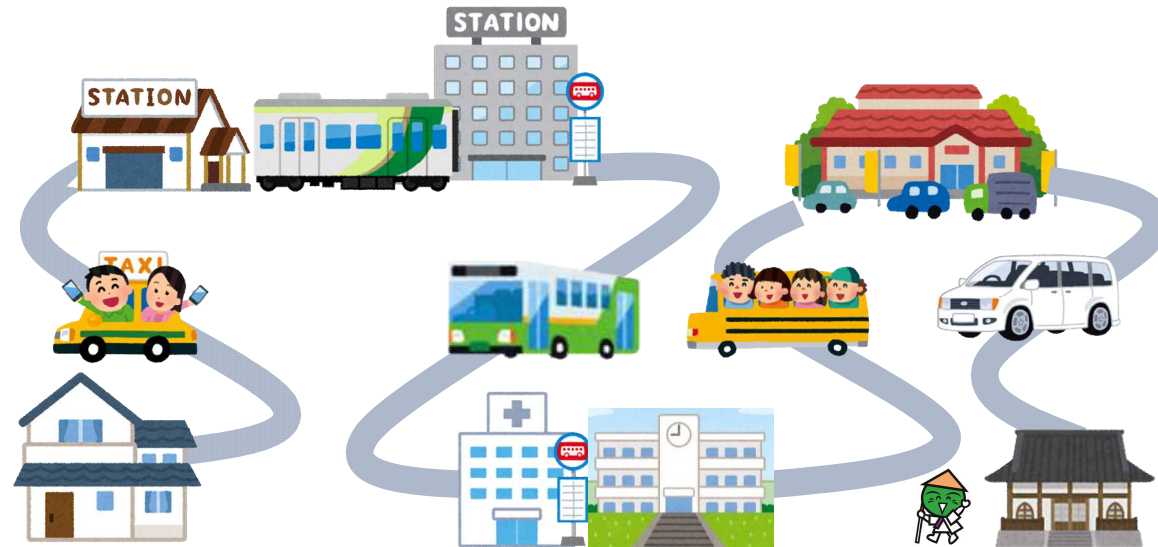


徳島県における「鉄道の利用促進・利便性向上」 アクションプラン

～「四国における鉄道ネットワークのあり方に関する懇談会Ⅱ」～
～中間整理に基づく地域の取組み～



2020年6月

徳島県生活交通協議会

はじめに

鉄道を取り巻く環境は、モータリゼーションの進展や人口減少などを背景に、利用者が減少するなど、非常に厳しい状況が続いており、地域の鉄道を支えるためには、国、県、市町村、事業者及び県民が一体となって路線維持に向けた取組みを進めることが重要となります。

本県では、平成29年5月に「徳島県生活交通協議会・ワーキング部会」を設置し、鉄道とバス等の連携による「モーダルミックスの推進」や「乗り継ぎの利便性向上」などの観点から、地域の公共交通の維持確保に向けた検討を重ね、できることから実践してきました。この結果、令和元年12月には、新たな「地域公共交通の羅針盤」となる「次世代地域公共交通ビジョン」を策定し、公共交通ネットワークの維持・充実にに向けた取組みを進めているところです。

こうした中、平成29年8月には、「四国における鉄道ネットワークのあり方に関する懇談会Ⅱ」が設置され、今後の鉄道の路線維持に向け、鉄道をはじめとする「四国の公共交通ネットワークのあり方」について議論がなされており、鉄道の利用促進や利便性向上に向けた県別(地域)の取組みが求められています。

この「徳島県における鉄道の利用促進・利便性向上アクションプラン」は、本県の地域公共交通の羅針盤である「次世代地域公共交通ビジョン」の施策体系に沿い、特に鉄道の「利用促進策・利便性向上策」について、今後、各関係者がどのように取組むかを明らかにしたものです。



「鉄道の利用促進・利便性向上」に向けた取組み事例

1 パターンダイヤの導入

JR四国初

最適化

◆ 牟岐線へのパターンダイヤ導入 (H31.3～)

特急列車は減便(上下各4本→1本)
その一方、徳島～阿南間で普通列車を
8本増発し、利便性を向上

11 00	4	30	4
12 00	4	30	4
13 00	4	30	4
14 00	4	30	4
15 00	4	30	4
16 00	4	30	4
17 00	4	30	4
18 00	4	30	4

▽「徳島～阿南駅」間
平均通過人員(4月～9月)
対前年比(H31(R1)/H30)
全体 2.9ポイント増加

2 駅を核とした乗継ネットワークの構築

◆ 南小松島駅における路線バスとの乗継連携

徳島駅～県南部方面の路線バス(全系統)の
「南小松島駅」への乗入れ(H30.4～)による利便性向上

▽「南小松島駅」乗車人員
対前年比(H30/H29)
6.3ポイント増加



◆ 阿南駅以南における高速バスとの乗継連携

高速バスで補完することで、列車本数が少ない
阿南駅以南における利便性が向上

全国初

3 DMV導入に向けた取組み

世界初

◆ 阿佐東線におけるDMVの本格営業運行

車両自体が観光資源となるDMVの導入により、
阿佐東線はもとより
牟岐線の利用を促進



4 配車システムの実装

利便性

◆ デマンド型乗合交通実証運行の実施

- ・最適な運行計画を自動作成するシステムを導入(H31.4～)
- ・タクシーを活用し、市域を超えて、
駅や医療施設に接続

▽駅のない市におけるデマンド型乗合交通の利用状況(R1)
市域外最寄り駅への利用者数 13.5%

5 交通結節点の環境整備

◆ 駅前ロータリー等の整備

- ・駅前ロータリーにバス停
併設の休憩施設(足湯)を整備
- ・駐輪場も新設し、駅舎には
観光案内所を併設



◆ 駅周辺の美化活動

- ・地域住民による駅周辺の
清掃活動
- ・沿線自治体による
駅周辺の放置自転車の撤去



6 地域で支える意識の醸成

利用促進

◆ 観光振興と連携した取組み

- ・観光列車「四国まんなか
千年ものがたり」運行時に
おける地域住民の
“おもてなし”
- ・マイレール意識醸成の
ためのモデル的な取組み
に対する県の支援



■次世代地域公共交通ビジョンの施策体系に基づく「鉄道の利用促進・利便性向上」に向けた取組み

◎ … 特に主となる実施者
○ … ◎以外の実施者

項目	内容	実施主体				取組の状況		
		県	市町村	交通事業者		実施済	実施拡大 (予定含む)	検討中
				鉄道	バス			
公共交通の最適化								
①モーダルミックスの推進								
◆並行、重複路線の解消								
	鉄道とバスが並行している路線の再編		○	○	○	◎	○	
◆パターンダイヤの導入								
	JRの路線へのパターンダイヤの導入		○	○	◎		○	
	他路線へのパターンダイヤ導入		○	○	◎			○
	路線バスへのパターンダイヤ導入			○		◎	○	
	待ち時間の少ない乗り継ぎダイヤ設定・調整			○	◎		○	
◆駅を中心とした乗り継ぎネットワークの構築								
	駅等へのバスの乗り入れ		○	○	○	◎	○	
	他路線における駅への路線バスの乗入		○	○	○	◎		○
	鉄道と高速バスの連携		○		○	◎	○	
	列車ダイヤと接続する高速バスダイヤの調整		○		○	◎	○	
	列車ダイヤに合わせたバスダイヤの設定・見直し			○	○	◎	○	

項目	内容	実施主体				取組の状況		
		県	市町村	交通事業者		実施済	実施拡大 (予定含む)	検討中
				鉄道	バス			
	列車ダイヤに合わせた町コミュニティバスダイヤの見直し		◎	○		○		
	列車ダイヤに合わせたシャトルバスダイヤの見直し		○	○	◎	○		
	特急列車ダイヤに合わせた登山バスダイヤの設定		◎	○		○		
	列車ダイヤに合わせた出羽島連絡船運航時間の見直し		◎	○				○
	列車ダイヤ改正時における自治体・交通事業者への事前周知			◎		○		
	JRの拠点駅を中心とした効率的なネットワークの構築	◎	○	○	○	○		
◆新たな路線の開設								
	利用者ニーズに応じた新たな路線の開設	○	○	○	◎		○	
② 新たな運行形態の導入								
◆コミバス、タクシーとの連携								
	コミバスやタクシーの活用		◎	○			○	
	駅のない市町村におけるデマンド型乗合交通による最寄り駅へのアクセス確保(実証事業)		◎	○			○	
	駅へのコミュニティバスの乗入		◎	○			○	
	JRを核とした交通ネットワークの構築(コミバスの活用)		◎	○			○	
◆福祉バスの活用								
	福祉バス等の一体的な活用		◎	○		○		
	駅への病院連絡バスの乗入		◎	○		○		

項目	内容	実施主体				取組の状況		
		県	市町村	交通事業者		実施済	実施拡大 (予定含む)	検討中
				鉄道	バス			
利便性向上								
③ つなぐ仕組みの構築								
◆公共交通オープンデータ化								
バスの時刻表や路線情報のオープンデータ化		○	◎		◎		○	
④ 交通結節点の環境整備								
◆利用者の“多様性”に配慮した環境整備								
既存施設を活用した待合環境の整備	待合所の整備	○	◎	◎	○		○	
	待合室と広報施設の併設		◎	○		○		
	地元児童・生徒の作品展示		◎	○		○		
	駅スペースを活用した待合環境の整備		◎	○				○
駅や時刻表の多言語表記化	多言語による情報提供	○		◎			○	
	多言語案内板の設置	○	○	○	○		○	
	車掌用タブレット端末の導入(案内用)			◎				○
バリアフリー化	駅ホームへの内方線付き点状ブロックの整備	○	○	◎		○		
	駅エレベーターの設置	○	○	◎		○		
Wi-Fi環境の整備	駅へのWi-Fi環境の整備	○	○	○			○	
	車両(車内)へのWi-Fi環境の整備	○		◎	◎		○	

項目	内容	実施主体				取組の状況		
		県	市町村	交通事業者		実施済	実施拡大 (予定含む)	検討中
				鉄道	バス			
駅前整備	駅前ロータリー・広場の整備	○	◎	○			○	
駅周辺の整備	駅周辺道路への電灯・防犯灯の増設		◎					○
駅舎と公共施設との合築	公共施設との合築		◎	○		○		
	「道の駅」との併設		◎	○		○		
トイレの整備	公衆トイレ(多目的・洋式化・水洗化)の整備	○	○	○			○	
	洋式トイレの整備(車両)			◎			○	
	公衆トイレの清掃		◎				○	
美化活動	駅構内・駅周辺の美化活動		◎	○		○		
観光案内所の整備	観光案内所の設置・整備		◎			○		
	駅舎スペースを活用した観光PR		◎	○		○		
	観光案内板の設置	○	◎					○
車両内荷物置き場の設置				◎			○	
レンタサイクルの設置			◎				○	
他交通機関への乗継案内	駅前停留所に乗り入れるバスの時刻表を駅舎に掲示		◎	○	○		○	
◆駐車場・駐輪場の整備								
駅への駐車場や駐輪場の整備	駅への駐車場の整備	○	◎	○			○	
	駅への駐輪場の整備	○	◎	○			○	

項目	内容	実施主体				取組の状況		
		県	市町村	交通事業者		実施済	実施拡大 (予定含む)	検討中
				鉄道	バス			
	駐輪場の整理・清掃		◎			○		
	駅における放置自転車の撤去		◎			○		
	パークアンドライドの推進	○		○	○		○	
利用促進								
⑤ 新たな需要の創出								
◆フリー乗車券の発行								
鉄道とバスなど異なる交通機関で利用できるフリー乗車券等の導入	JRと高速バスの共通定期券の導入	○	○	◎	◎			○
	鉄道とバスなど異なる交通機関をシームレスに利用できる共通運賃の導入	○	○	○	○			○
企画切符の販売	四国みぎした55フリーきっぷの販売	○	○	◎	◎	○		
	往復切符(博多、広島、阪神等)の販売			◎		○		
	往復(一周)切符(徳島・室戸・高知きっぷ)の販売			◎		○		
◆インバウンド向け企画商品の造成								
訪日外国人旅行者がキャッシュレスで周遊できる企画乗車券の発行	ALL SHIKOKU Rail Passの販売			◎		○		
	Tokushima Bus passの販売	○	◎		◎	○		
◆貨客混載の取組								
バスを活用した貨物輸送「貨客混載」の推進	バスを活用した貨客混載				◎	○		
列車を活用した貨物輸送「貨客混載」の推進	列車を活用した貨客混載	○		◎				○

項目	内容	実施主体				取組の状況		
		県	市町村	交通事業者		実施済	実施拡大 (予定含む)	検討中
				鉄道	バス			
◆新たな車両の導入								
新型車両の導入	2600系及び2700系の導入			◎			○	
DMV車両の導入	DMVの導入(JRから阿佐海岸鉄道へ阿波海南～海部間の譲受)	○	○	◎		○		
DMVの活用	利便性向上策や利用促進策の取組み	○	○	○			○	
⑥ 地域で支える意識の醸成								
◆利用啓発イベントの開催								
公共交通利用促進イベントの開催	駅前イベントの開催	○	○	○	○		○	
県民や事業者等との連携した取組みの実施	ノーカーデーの実施	○	○				○	
	出張時等における公共交通利用促進	○	○					○
	企業内における公共交通利用促進の周知	○	○					○
	教育機関と連携した公共交通利用促進(校外活動等)	○	◎				○	
	マイレール意識の醸成(四国まんなか千年ものがたり運行時のおもてなし)				○		○	
企画列車の運行	地域のイベントと連携した企画列車の運行	○	○	○			○	
	四季に応じた企画列車の運行	○	○	○		○		
	サイクルトレインの運行	○	○	○			○	
	とくしま回帰トレインセミナーinJR四国の開催	○			○		○	
臨時列車の運行	観光列車の運行(ゆうゆうアンパンマンカー、アンパンマン列車、四国まんなか千年ものがたり)				◎		○	

項目	内容	実施主体				取組の状況		
		県	市町村	交通事業者		実施済	実施拡大 (予定含む)	検討中
				鉄道	バス			
イベント開催時におけるJRとの連携	臨時列車の運行(阿波おどり、四国酒まつり、徳島ヴォルティスホームゲーム、初詣)	○	○	◎		○		
	臨時駅の開設		○	◎		○		
	アニメイベント「マチ★アソビ」とのコラボイベント(記念入場券の販売、駅ジャック、声優一日駅長)	◎		○		○		
	四国DCへの取組み	○	○	◎			○	
	駅～イベント会場間における無料シャトルバスの運行		◎	○		○		
	駅を起点としたツアー造成・催行		◎	○		○		
	イベント開催時における利用促進の推進	○	○	○			○	
観光振興と連携した取組みの実施	イベント開催時における鉄道利用者への特典		◎			○		
	公共交通マップの作成		◎				○	
	観光列車及び企画列車運行時におけるおもてなし活動の実施		◎			○		
列車利用者への特典等	観光パンフレット等への列車時刻表等の掲載		◎			○		
	鉄カードの作成、配布		○	◎		○		
◆補助制度の創設	ファンクラブ制度による特典		○	◎		○		
	通学定期購入者への助成			◎		○		
高齢者への運賃補助	高齢者への運賃補助		◎			○		
	高齢者タクシー利用料金助成事業における駅への乗り入れ		◎			○		

項目	内容	実施主体				取組の状況		
		県	市町村	交通事業者		実施済	実施拡大 (予定含む)	検討中
				鉄道	バス			
マイレール意識の醸成	市町村が行う鉄道の利用促進等につながる取組みへの支援	◎	○	○			○	
◆公共交通の現状の周知								
県民に対する周知	ホームページや広報誌等広報媒体の活用	○	○	○	○		○	
	鉄道と高速バスのダイヤを併記した時刻表の作成			○	○	○		
	県民へのチラシ配布	○	○	○	○		○	
その他								
◆計画の策定								
次世代地域公共交通ビジョン策定		◎	○	○	○	○		
地域公共交通網形成計画策定		○	◎	○	○		○	
立地適正化計画策定		○	◎				○	
◆調査等の実施								
利用者アンケート	地域公共交通に関するアンケート調査の実施	○	○				○	
利用実態調査	観光庁「交通サービス調査事業」の実施		◎			○		

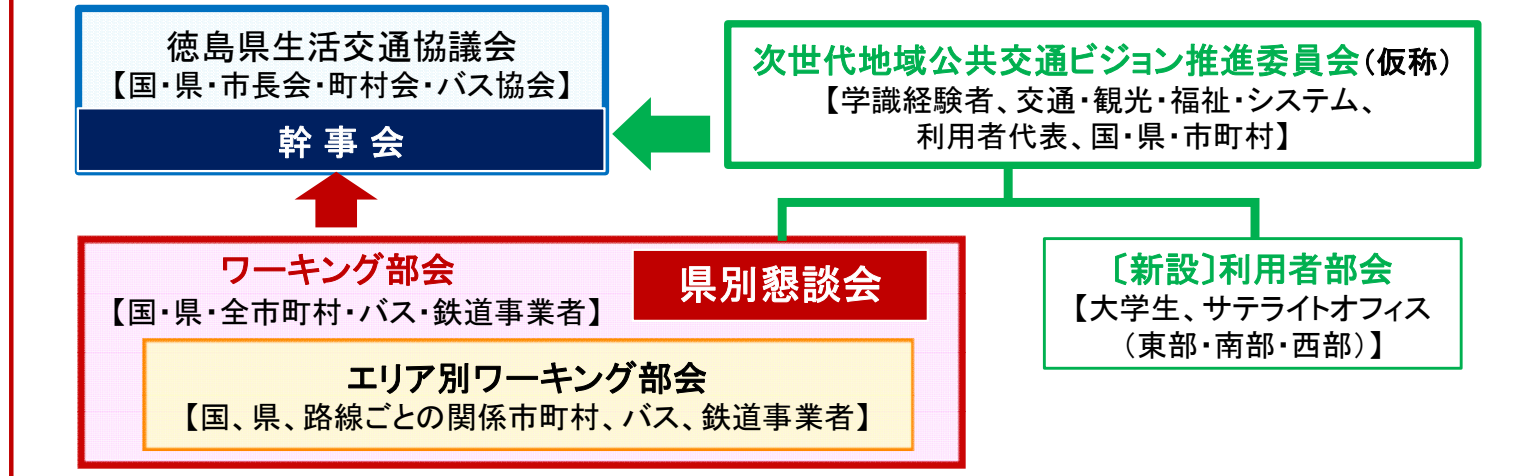


「鉄道の利用促進・利便性向上」アクションプランの検討組織と経過

○ 検討組織の設置

- H29年5月 JRの懇談会(H29.8)に先んじて、国、全市町村、鉄道、バス事業者からなる「徳島県生活交通協議会 ワーキング部会」立ち上げ
- H30年8月 「徳島県次世代地域公共交通ビジョン策定委員会」を設置
- R元年6月 ワーキング部会に「四国における鉄道ネットワークのあり方に関する懇談会Ⅱ」県別懇談会を位置づけ

○ 推進体制



－ 県別懇談会における検討の経過 －

- R元年 6月18日 ワーキング部会〈全体会〉
- 9月 アンケート調査の実施(市町村)
- 9月18日 ワーキング部会〈エリア別〉(鳴門線・高徳線エリア、徳島線・土讃線エリア)
- 9月26日 ワーキング部会〈エリア別〉(牟岐線エリア)
- 11月 鉄道の利用促進策・利便性向上策に関する取組状況の照会
- 12月24日 徳島県生活交通協議会幹事会(利用促進策・利便性向上策照会結果の報告)
- R2年 1月 利用促進策・利便性向上策に関するヒアリング〈全沿線市町〉(JR四国参加)
- 6月4日～12日 ワーキング部会〈エリア別〉
- 6月15日 ワーキング部会〈全体会〉
- 6月 徳島県における「鉄道の利用促進・利便性向上」アクションプラン取りまとめ